

立川市ごみ市民委員会 第4回委員会 議事要旨

件 名	立川市ごみ市民委員会 第4回委員会		
日 時	令和元年 11 月 12 日(火) 9:00～11:00	場所	立川市役所 210 会議室
出席者	委 員：ごみ市民委員会委員（13 名） 事務局：ごみ減量化担当部長、ごみ対策課長、ごみ減量推進係長、ごみ減量推進係（2 名）		
資 料	会議次第、資料 1 ～資料 3		

会議概要

1 開会

2 委員長あいさつ

- ・原委員長より開会のあいさつがあった。

3 議題

（1）第3回ごみ市民委員会議事要旨の確認

指摘事項等なし。

（2）施策の検討（ワークショップのまとめ）

- ・過剰包装について、答申への盛り込み。
- ・市の職員も含め、マイボトルのようなごみを出さないようなライフスタイルの転換が重要。

（3）答申案について

事務局より資料に基づいて説明があり、質疑を行った。

主な質疑等

- ・リサイクルセンターへの見学会を行いたいが、以前は市がバスを手配してくれていたが、今はないので開催しづらい。
→見学のバスもあるが、自治会連合会の視察用として1日分の予算がついているのみ。改めて考えていきたいが、すぐにできるとは言えない状況である。
- ・提言1でSDGsのNo.12.13.14について触れているが、この他にもNo.7.8.9.15.17等、関連するゴールはある。広く浅く取るのか、狭く深く取るのか検討してほしい。

提言 3 で協同について触れているので No. 17 は入れてもいいと思う。

- ・ SDGs は国連が世界規模での包括的な目標を掲げたものであり、自治体はそのなかで個別・具体的に動かなければならない。このことに気が付いているといった表現を入れた方がいい。

→ 拝承。

- ・ 提言 3 で従業者 1 人 1 日当たりについて触れているが、対象となる事業所の従業員数を市は把握しているのか。

→ 把握というより、経済センサスと東京都の統計を用いている。これを元に回帰分析を行っているので、あくまでも目安となる。従業員数ではなく、延べ床面積等の方法もあるが、ごみを減らす主体が分母になるべきと考え従業員数とした。

- ・ ごみに関心が乏しい市民の声を聞くなどし、改善につなげるべき。目標を作ったのなら、これを周知させていくことが重要。コミュニケーションの手段について答申に盛り込んでもいいのでは。

→ 拝承。

- ・ 目標である市民 1 人 1 日当たりのごみ量について、おにぎり〇個分など分かり易い表現を入れてほしい

→ 拝承。毎年作成している「目で見える立川市のごみ」のなかでも検討させていただく。

- ・ 市長やゆるキャラといった訴求力のある啓発方法を検討してほしい。

→ 拝承。

- ・ 楽市など、イベント時にごみの分別について PR してほしい。

→ 拝承。

(5) その他、確認事項

特になし。

4 次回日程

- ・ 現時点で全委員の日程が合う日が取れない状況のため、再度調整が必要。

以上